

学力向上を図るための全体計画

教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、多様性を認め、平和な社会の創り手となるため、社会の変化に応じて生じるさまざまな課題に主体的に向き合い、感性を働かせ、他者と協働し、新たな解決策を生み出すことのできる資質・能力の育成を目指し、次の教育目標を掲げる。

「学び合い・心豊かに・たくましく」

「学び合い」を重点目標とする。



学校経営計画

「〇〇したい」を育む授業改善を通して自分の思いや考えをすすんで表現し、学び合うことができる児童を育成する。



永山小学校における「身に付けさせたい学力」のための具体的方策

- 教師の授業改善(校内研究、年1回道徳授業)
- 探究的な学びの充実(学校図書館)
- 学級風土づくり(話し合い活動)
- 教室環境のユニバーサルデザイン(授業の流れ)
- 指導方法の工夫(一人一台端末)
- ESDの推進(総合的な学習の時間)
- 分かる授業の実施(授業の導入)
- 分かったと思える授業の実施(授業のまとめ)
- 目標を明確にした授業づくり(週案簿)



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容 指導方法の工夫	校内における 研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○行事の精選による授業時間の確保 ○余剰時間の活用 ○効果的な指導計画の工夫 ○年間の授業日数の確保 ○学習指導要領の円滑な実施に向け学年ごとの系統的な学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価基準の再確認 ○評価方法の共通理解及び、即時評価と指導・支援のフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の徹底(「東京ベーシック・ドリル」の活用) ○問題解決学習の充実 ○体験活動の効果的な位置付け(地域人材の活用) ○少人数指導による個に応じた授業の充実(習熟度別指導) ○ピアティーチャーや学生ボランティアの効果的な活用 ○ユニバーサルデザインの視点を生かした支援と環境づくり ○タブレット端末を活用した学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動の充実(読む力・話す力・書く力・聞く力を伸ばすための授業づくり) ○校内研究を核とした授業実践 ○管理職の授業観察による授業改善 ○交流活動の実践と活用 ○ICTを活用した授業の研修 ○OJTによる教員の指導力向上 ○OFF-JTで学んできたことの還元研修 ○特別支援学級・教室の実践を生かした指導方法の研修